

# News Release

2021年8月26日  
株式会社日本政策投資銀行

## 使用済みプラスチックの再資源化事業への取り組み 「株式会社アールプラスジャパン」への資本参加について

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、使用済みプラスチックの再資源化技術の開発や実用化に取り組む株式会社アールプラスジャパン（本社：東京都港区、代表取締役：横井恒彦、以下「RPJ」という。）に対して資本参加いたしました。

RPJ は、持続可能な社会の実現やプラスチック課題解決に向けて、業界を超えた多企業間の連携により設立され、2020年6月から事業を開始しています。RPJ が開発を進める使用済みプラスチックの再資源化技術の活用により、従来技術に比べ、再資源化工程の省プロセス化、CO2 排出量やエネルギー消費量の抑制、環境負荷の少ない効率的なプラスチックの再資源化が期待されます（別紙参照）。

本件は、環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術の確立を通じて、プラスチック資源循環社会の実現を推進するものであり、広く我が国産業の競争力強化に資すると期待されます。DBJ は持続可能な社会の実現・発展に貢献すべく、DBJ の「特定投資業務（注 1）」の一類型として設置した「グリーン投資促進ファンド（注 2）」を活用し、RPJ への資本参加を行うこととしました。

DBJ は、今後とも「特定投資業務」を通じた成長資金にかかる市場の発展や地域経済の活性化、競争力強化に向けたお客様の取り組みを積極的にサポートしてまいります。

（注 1）民間による成長資金の供給の促進並びに地域経済の活性化及び我が国企業の競争力の強化を図るため、国からの一部出資（産投出資）を活用して、成長資金を時限的・集中的に供給する業務です。

（注 2）「特定投資業務」について、2050年カーボンニュートラルを目指す政府の方針等も踏まえ、グリーン社会の実現に資する事業等への取り組みを幅広く支援することを目的として設置した資金枠です。

### 【お問い合わせ先】

関西支店 企画調査課 電話番号 06-4706-6455

<RPJ の取り組みについて>

RPJ は、米国のバイオ化学ベンチャー企業であるアネロテック社 (Anellotech Inc.) とともに、環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術開発を進めます。世界で共通となっているプラスチック課題解決に貢献すべく、回収プラスチックの選別処理、モノマー製造、ポリマー製造、包装容器製造、商社、飲料・食品メーカーなど業界を超えた連携により、2027 年の実用化を目指していきます。

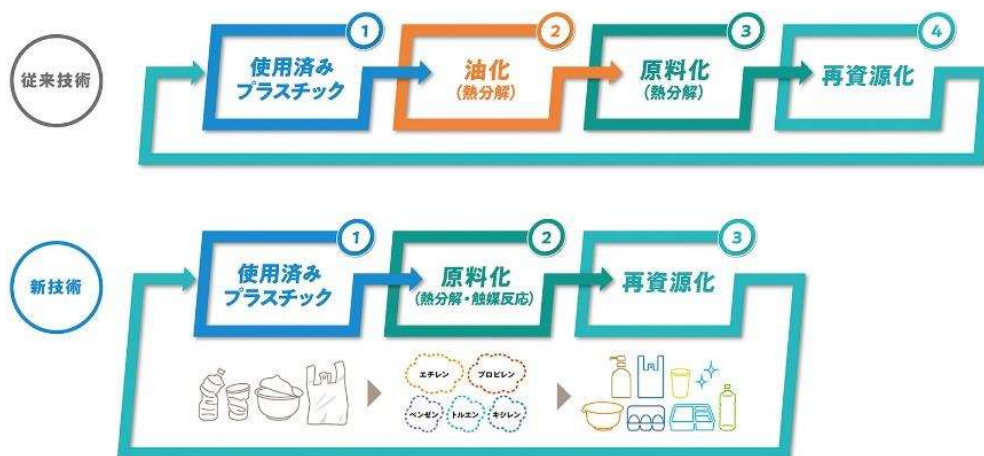
<使用済みプラスチックの再資源化技術について>

ペットボトル以外のプラスチックは、現在国内では多くが燃焼※1 されていますと言われています。今回の技術は、ペットボトルを含むその他一般のプラスチックを、直接原料 (ベンゼン・トルエン・キシレン・エチレン・プロピレンなど) に戻すケミカルリサイクル※2 の技術です。

従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない工程で処理でき、CO2 排出量やエネルギー必要量の抑制につながるものと期待しています。この技術が確立できれば、より多くの使用済みプラスチックを効率的に再生利用することができると考えています。

※1 焼却時に発生する熱を回収し、発電や熱供給に活用するサーマルリカバリー (熱利用) を含む。

※2 使用済みの資源をそのままではなく、化学反応により組成変換した後にリサイクルする。



## <RPJ 概要>

会社名	株式会社アールプラスジャパン
事業開始	2020年6月5日
本社所在地	東京都港区台場2-3-3
代表取締役社長	横井恒彦
事業内容	使用済プラスチックの再資源化技術の開発・実用化推進

参考：アネロテック社（Anellotech Inc.）について

2008年創業。米国ニューヨーク州パールリバーに本社・研究開発機能をもつバイオ化学ベンチャー企業。非食用の植物由来原料から石油精製品と同一性能を持つベンゼン・トルエン・キシレンを生成する技術開発を進めている。

## 【参画企業一覧】

